

クエの季節がやってきた —クエ・フェア開催—

10月1日(土)、九絵の町づくり推進実行委員会(山田理司委員長)がクエのまちPRイベント「クエ・フェア」を開催。多くの観光客が県内外から訪れました。

今年も昨年に引き続き、産湯海水浴場駐車場で開催。開場前からクエ料理を求めて食券販売所には長い行列ができ、「ニッポン全国鍋グランプリ2016」で見事3位入賞を果たしたクエ鍋や、クエ飯、クエ唐揚げやクエ寿司を受け取ると、早速テーブル席で名物を味わっていました。

またステージでは、和歌山県住みます芸人「わんだーらんど」のトークショーや北出病院の「消炎鎮痛楽団」の演奏会、琉風会による沖縄エイサーの演舞などが披露され、会場は熱気に包まれました。クエの解体ショーでは、初めて見る大きなクエや、専用のナタと木槌を使った独特な解体風景に来場者は目が釘付けに。

他にもクエの重さ当てクイズ、ビンゴゲームなどで、大いに盛り上がりました。最後には、もち投げを行い、来場者はクエ尽くしの一日を堪能しました。



消防の仕事を見学 —比井小・広域消防見学—

9月16日(金)、比井小学校(玉置雅己校長)の4年生児童4人が、日高広域消防本部を見学しました。

児童らはビデオで消防士の仕事を勉強した後、署内を見学。通信司令室では119番通報された時の訓練を見学し、迅速な対応に感嘆の声をあげていました。

また、ポンプ車や救急車に乗って説明を受けたり、放水を行う訓練も体験。

はじめて体験した消防士の仕事に、児童らは「勉強になったし面白かった。消防士さんはすごいと思う」と良い経験になった様子でした。



人生の先輩に感謝 —日高町敬老会を開催—

9月28日(水)、日高町農村環境改善センターにおいて、高齢者を敬愛し、長寿を祝う日高町敬老会を開催しました。

当日は、招待した70歳以上の高齢者や一般の方々およそ400人が集まり、松本町長が模範老人の方々に感謝状と記念品を贈呈。

また、式典終了後には海原はるか・かなたさんによる漫才や宮川珠季さんによる杉良太郎そっくりショー、小芝陽子さん、青木美香子さんの歌謡ショーが行われ、会場からは大きな拍手が送られました。

